

## MLOG100

### 1.配線の注意事項

・入力ラインに対しては、通常 GND・ガードラインのパターンにより、誘導を防ぐようにしてください。

・入力端子部のパターンには、高電位のパターンを近づけないようにしてください。

・電流入力の場合、端子 15は GNDに接続した方が良いでしょう

・電源ラインは  $0.1\mu\text{F}$  のセラミックコンデンサと数  $\mu\text{F}$  のタンタル等のコンデンサをパラにしたパスコンを入れてください。

・ $R_{re}$ に高抵抗を用いる場合、端子 1~ 7間に  $0.1\mu\text{F}$  のパスコンを入れた方が良いでしょう

### 2.調整方法

#### (1)電圧入力

入力範囲が、 $E_{inMIN} \sim E_{inMAX}$ で、その時の出力を  $\pm 10\text{V}$ とすれば、次のようになります。

$E_{inMAX}$ 時に出力  $- 10\text{V}$  ,  $E_{inMIN}$ の時、出力が  $10\text{V}$ になるようにスケールファクタKを設定します。

出力が 0になる  $E_{in}$ の値を入力し、出力が 0になるように  $R_{re}$ を調整します。

$E_{inMAX}$ を入力し、出力が  $- 10\text{V}$ になるように  $R_{fb}$ を調整します。

$E_{inMIN}$ を入力し、出力が  $+ 10\text{V}$ になるようにオフセット調整を行います。

以上 , , をくり返します。

#### (2)電流入力

基本的には電圧入力と同等ですが、電流入力のインピーダンスが大の時は のオフセット調整がきかなくなります。その場合、電圧入力端子 15を GNDに接続します。

(電流入力の場合、基本的にはオフセット調整がききませんが、 $V_{in}$ 端子を GNDに落とす事により、電流成分を加算でき、多少のオフセット電流 ADJが出来ます。)